

歴史講座と現地見学の
真田氏三代 関連の



戦国大名真田氏の領国形成などについて講演する唐澤定市氏

田氏の領国形成」
上田市にある上田

来年の NHK テレビ大河ドラマに関連して今、真田氏がブームになっています。今年は、そうした中、真田三代に関する歴史講座、ゆかりの地への現地見学会を企画、実施しています。このうち4月18日には、第1回として中之条歴史と民俗の博物館「ミュゼ」顧問の唐澤定市氏が郷土資料館で「戦国大名真田氏の領国形



渋谷浩氏の案内で正覚寺を見学する参加者

などについて講演。5月23日には、城、同市真田町の真田氏館跡、長谷寺、信綱寺などゆかりの寺、さらに砥石城などを、地元真田町の「語り部の会」のメンバーのガイドで見学しました。また、6月20日には、みなかみ町文化財調査委員会会長の渋谷浩氏の案内で、真田信幸の正室大蓮院殿（小松姫）の墓などがある真田氏ゆかりの正覚寺や沼田真田氏の居城だった沼田城址、また天桂寺、名胡桃城址など、戦国ロマンを求めて真田氏ゆかりの地を訪ねました。なお、第4回は、9月26日に長野市松代町を訪ね、真田氏宝物館、文武学校、松代城址、真田三代の墓地がある長国寺などを見学する予定になっています。



名胡桃城では地元のガイドが解説

企画展「消えた硫黄鉱山」
= 小串・吾妻・石津 =

好評開催中!!



平成二七年度 嬬恋郷土資料館企画展
消えた硫黄鉱山

かつて嬬恋村には豊かな硫黄鉱床があり江戸時代から昭和の閉山まで硫黄は嬬恋村の特産でした。全盛期の昭和35年の鉱山人口は3500人余りを数え、明治時代からの日本の近代化と第二次世界大戦後の復興に大きく貢献しました。今回の企画展では、昭和の嬬恋村の産業を支えた小串、吾妻、石津の3つの硫黄鉱山を紹介します。

日本の近代化の一端を支えた硫黄鉱山。嬬恋村には、小串・吾妻・石津といった硫黄鉱山があり、江戸時代から昭和の閉山まで多くの硫黄を産出し、日本の近代化、特に第二次世界大戦後の復興に多大な貢献をしてきました。今回ここでは、嬬恋村の代表的な産業であった、小串・吾妻・石津の3つの硫黄鉱山を紹介しています。

